

昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授 : 日本史

<https://doi.org/10.15017/17119>

出版情報 : 比較社会文化. 16, pp.121-264, 2010-03-20. Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

写真番号 (50) 新屋敷西城址 (南区鳥栖町2丁目医王寺一带)



医王寺門前



〔西城〕2の10：近藤新太郎宅内 井戸



〔西城〕医王寺北東、わずかな名残り

写真番号 (51) 新屋敷・鳥栖〔東〕城址 (名古屋市南区鳥栖町旧千竈村新屋敷東切字中屋敷旧字鳥栖)



〔東〕八剣社より城址方面



〔東〕八剣社北面



〔東〕八剣社より山崎川方面

●新屋敷鳥栖城 (メモ帳から)

『愛知郡誌』に西城と記述する城跡を、いまは町名が鳥栖町だから鳥栖城と呼んでいるらしい。いま土塁はないが、東は坂になっており、わずかな面影がある。近藤新太郎氏宅の井戸は5メートル四方あるような大きなもので、古城の井と伝えている。覆いがしてあるが、むかしは両方からつるべで汲み上げるようになっていた。新太郎氏が井戸ざらいに底に入ると、物干し竿がふりまわせるほど広がった。医王寺の住職から。山口左馬介がいて、桶狭間の合戦で東海道を行った織田信長が鳥栖城の山口左馬介を攻めていった。むかしは(城跡が、または寺の敷地が)道路まで広くあった。

写真番号 (52) 星崎城址 (南区本地町1 笠寺小学校敷地)



鳴海方面

写真番号 (53) 鳴海城址 (緑区鳴海町城及び根小展)



上段写真の左側の老木



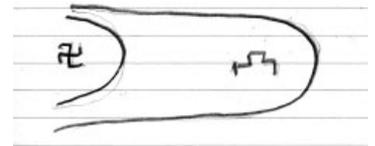
上段写真の右側石燈籠と石碑



写真番号 (54) 一色城址 (千種区猪高町一社旧字一色)



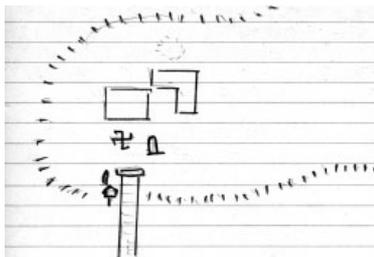
猪高村誌：長久手合戦に豊臣方に焼かる。最近土中より
銃丸とおぼしき土丸を耕作中掘り出す。
右手の山は造成中



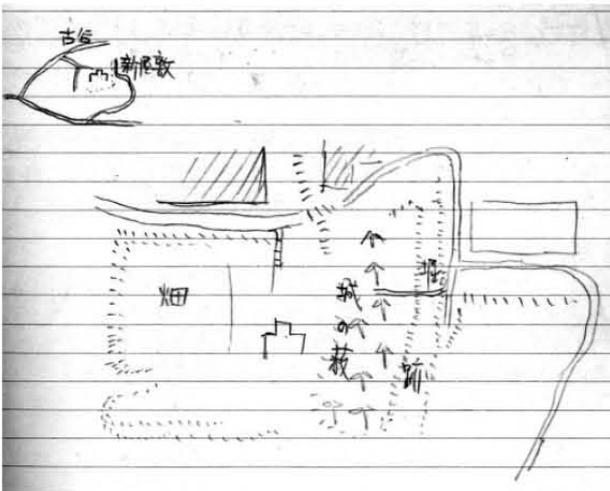
写真番号 (55) 下社城址 (千種区猪高町一社 明德寺)



伝 柴田勝家手植松
張州府志：在下社村。土人曰。柴田源六居之。



写真番号 (56) 高針城址 (千種区猪高町高針字古谷；城の藪)



写真番号 (57) 長湫城址 (長久手村大字長湫字城屋敷)



城址をみる



長久手合戦・首塚



長久手古戦場

写真番号 (58) 大草城址 (長久手村大草字城下)

